

# Racing Topics

## ★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

### ●石橋脩騎手がJRA通算600勝を達成

7月22日(日)の2回福島8日・第6レースではプレイズランが1着となり、同馬に騎乗した石橋脩騎手(美浦・フリー)は、史上75人目、現役では31人目となるJRA通算600勝(9853戦目)を達成しました。

### ●各地で開催リーディングジョッキーが決まる

7月22日(日)をもって2回福島競馬、3回中京競馬、2回函館競馬が終了しました。福島ではこの開催で11勝をあげた田辺裕信騎手(美浦・フリー)が、自身初となる夏の福島競馬リーディングジョッキーの座を獲得。中京では16勝をあげたミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)が、2015年以来となる夏の中京競馬リーディングジョッキーに輝きました。また函館ではクリストフ・ルメール騎手(栗東・フリー)が、1回函館競馬で5勝、2回函館競馬で13勝、計18勝をあげて初のリーディングジョッキーとなりました。

### ●リアルスティールらの競走馬登録抹消

2016年小倉記念(GⅢ)の勝ち馬クランモンタナ(牡9歳/栗東・音無秀孝厩舎/JRA通算54戦7勝)、2017年ブリーダーズゴールドC(門別・JpnⅢ)の勝ち馬マイティティー(牝6歳/栗東・本田優厩舎/JRA通算24戦5勝・地方4戦1勝)、2016年ドバイターフ(UAE・GⅠ)などの勝ち馬リアルスティール(牡6歳/栗東・矢作芳人厩舎/JRA通算15戦3勝・海外2戦1勝)は7月26日(木)までに競走馬登録を抹消されました。クランモンタナは北海道千歳市の社台ファームで乗馬、マイティティーは北海道新ひだか町のフジワラファームで繁殖馬、リアルスティールは北海道安平町の社台スタリオンステーションで種牡馬となる予定です。

### ●ジョッキーベイビーズの沖縄地区代表が決定

7月15日(日)、大宜味村結の浜公園で全国ポニー競馬選手権「第10回ジョッキーベイビーズ」の沖縄地区代表選考会が実施され、ワッソルメン エミさん(中学1年生)が地区代表に選出されました。

## ★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

### ●北海道のエムティアンが函館2歳S(函館)で見せ場を作り4着

函館2歳S(GⅢ、7月22日、函館)にJRA認定馬(上級認定競走1着馬)の資格で出走したエムティアン(北海道)は、2番手追走から4コーナー手前で先頭に立ち、その後3頭に交わされたものの4着に踏み止まりました。

### ●芝のオパールCはスタークニナガ(北海道)【各地の主要3歳重賞】

オパールC(7月8日、盛岡、芝1700m)は、4番手を進んだ2番人気の北海道からの遠征馬スタークニナガ(牡、父サクラオリオン)が直線半ばで抜け出し、4馬身差の楽勝を収めました。ウイナーC(6月24日、水沢、1400m)は、新馬勝ち以来11か月ぶりの出走で8番人気だったサンエイキャピタル(牡、父シニスターミニスター)が、後ろから2頭目という位置から追いついて直線半ばで差し切り勝ち。優駿スプリント(6月26日、大井、1200m)は、北海道でデビュー、愛知を経て大井に移籍した11番人気のクルセイダスピリット(牡、父サウスヴィグラス)が2番手から残り300mを切った辺りで抜け出して優勝しています。

## ★海外競馬ニュース 文・秋山響★

### ●G1愛オークス～シーオブクラスが後方から差し切る

G1愛オークス(芝1200m)が7月21日にアイルランドのカラ競馬場で行われ、7頭立ての最後方からレースを進めたイギリス調教馬シーオブクラス(牝3歳、父シーザスターズ)がゴール前でG1英オークスの勝ち馬フォーエバートゥギャザーをクビ差交わして優勝。G1初制覇を果たしました。シーオブクラスは今年4月のデビュー戦は2着に終わりましたが、続く5月のフィリーズトライアルS(芝1000m)と6月のアビングドンS(芝1000m)をともに2馬身差で快勝してここに臨んでいました。鞍上のJ.ドイル騎手、管理するW.ハガス調教師はともに愛オークス初制覇。ドイル騎手はこのレースの前に行われたG3アングルシーSとG2ミンストレルSも制しており、重賞3連勝の大活躍でした。

### ●G3メシドール賞～日本調教馬ジェニアルが優勝

7月22日にフランスのメゾンラフィット競馬場で行われたG3メシドール賞(3歳上、芝1600m・直線、4頭立て)は、日本から遠征したジェニアル(牡4歳、父ディーピンパクト、栗東・松永幹夫厩舎)が武豊騎手を背に好スタートから先手を奪うと、追いつがるG2ミューゲ賞など重賞3勝のジミートゥタイムズを振り切って半馬身差で優勝。重賞初制覇を海外で果たしました。